2018年3月期
決算説明資料

2018年5月9日

クラリオン株式会社

執行役 会長　　川本英利

決算報告及び
中期経営計画のご説明

執行役社長兼CEO　川端　敦

1．2018年3月期 決算概況

2. 中期経営方針、目標

3. 中期事業戦略

＜2019年3月期～2021年3月期＞

Copyright © 2018 Clarion Co., Ltd.

1．2018年3月期 決算概況

2．中期経営方針、目標

3．中期事業戦略
＜2019年3月期～2021年3月期＞

Copyright © 2018 Clarion Co., Ltd.

連結業績推移

億円未満四捨五入（単位：億円）

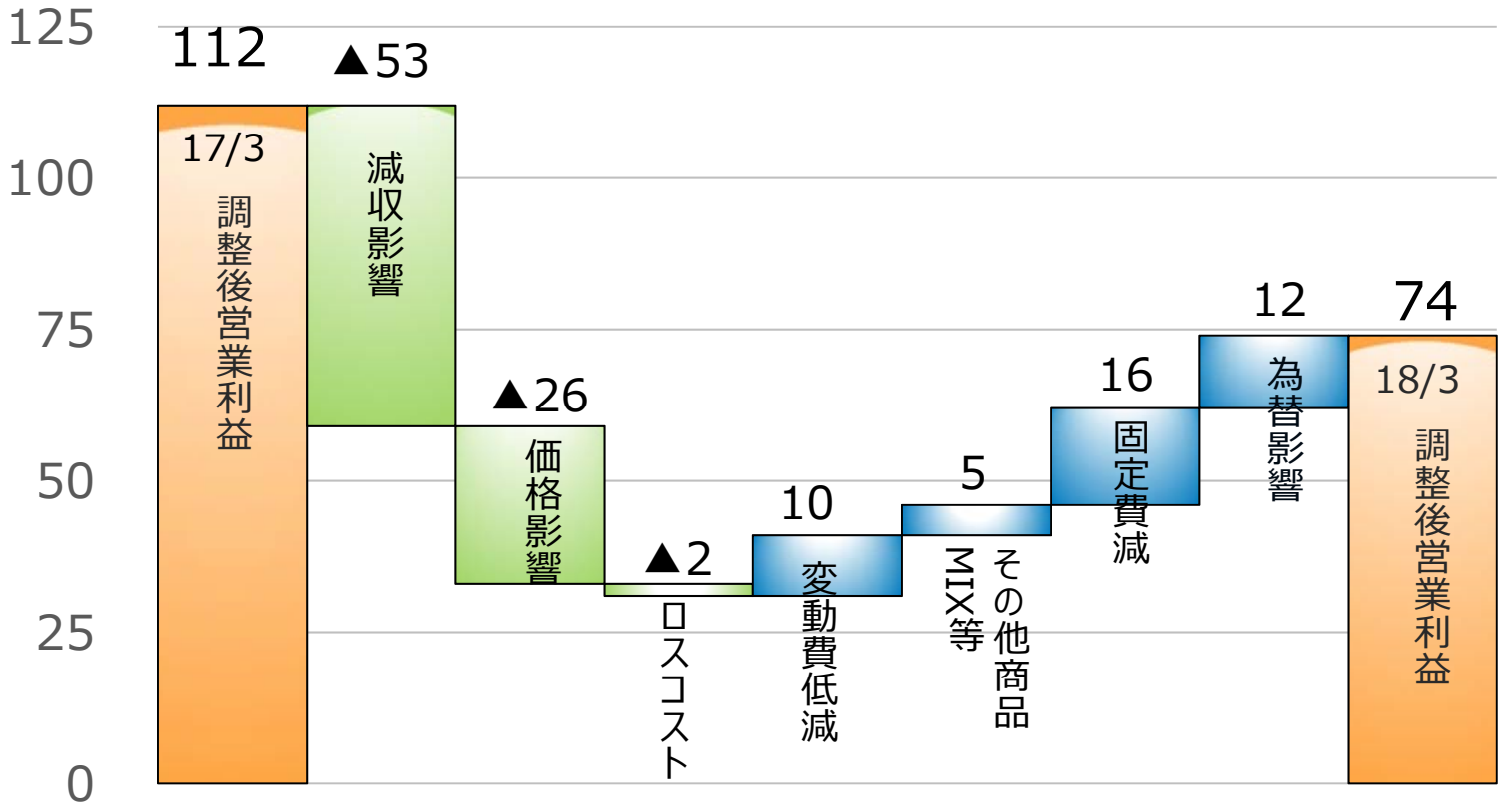
	17/3期実績	18/3期実績	(18/3期業績予想)
売上収益	1,948	1,831	(1,800)
調整後営業利益	112	74	(75)
税引前利益	110	45	(35)
親会社株主に帰属する当期利益	77	21	(10)
配当	3円	2円	-
棚卸資産 （回転日数）	205 (38.4日)	196 (39.0日)	-
ネット有利子負債	120	101	-
親会社株主持分 （親会社株主持分比率）	437 (33.8%)	449 (35.4%)	-
フリー・キャッシュ・フロー	110	35	-
為替レート（期中平均）	US$=¥108	US$=¥111	-
	EUR=¥119	EUR=¥130	-

Copyright © 2018 Clarion Co., Ltd.

調整後営業利益前期比較

（単位：億円）

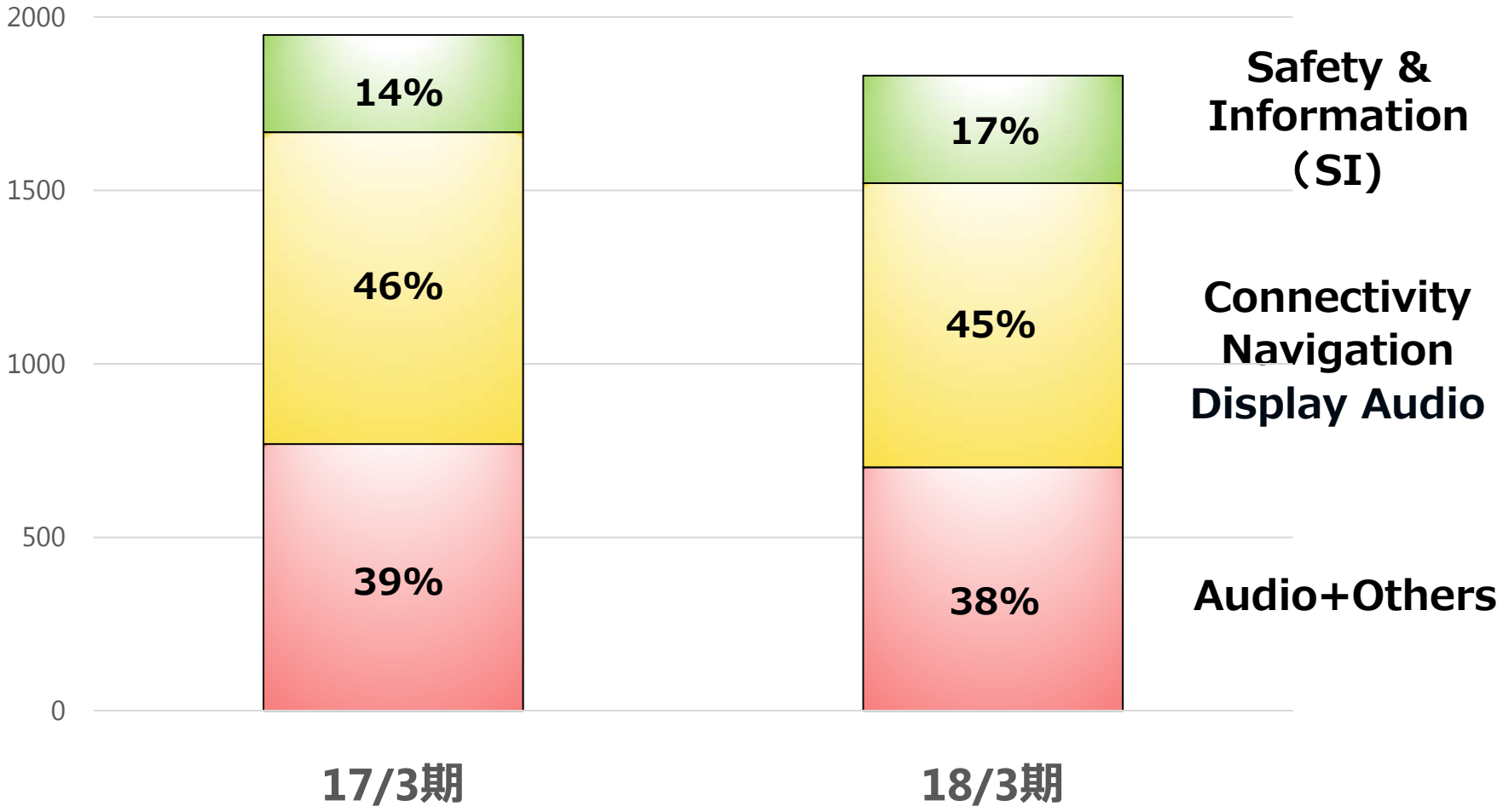
調整後営業利益 74億円　（38億円の減益）



Copyright © 2018 Clarion Co., Ltd.

製品セグメント別売上

売上収益
(単位：億円)



Copyright © 2018 Clarion Co., Ltd.

2019年3月期経営計画(連結)

億円未満四捨五入

（単位：億円）

	19/3期
売上収益	1,650
調整後営業利益	30
税引前利益	24
親会社株主に帰属する当期利益	17
配当	未定
為替レート	US$=¥107 EUR=¥130

Copyright © 2018 Clarion Co., Ltd.

1．2018年3月期 決算概況

2. 中期経営方針、目標

3. 中期事業戦略
＜2019年3月期～2021年3月期＞

Copyright © 2018 Clarion Co., Ltd.

業界動向

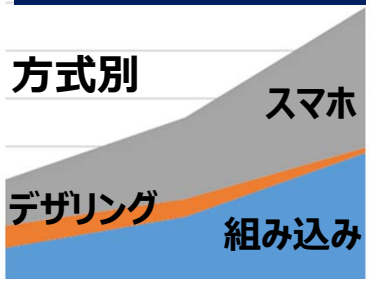
当社は「変化」を「機会」ととらえ、いち早く「事業ポートフォリオ変革」に着手

社会課題

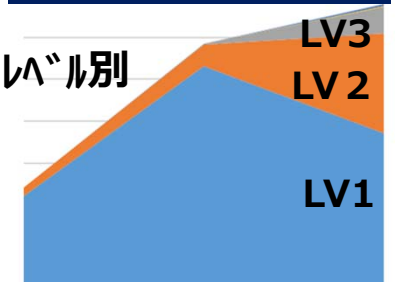
- 交通事故削減
- 交通渋滞減少
- 温暖化対策
- 高齢化対策
- 過疎化対策
- 労働力不足

イノベーション

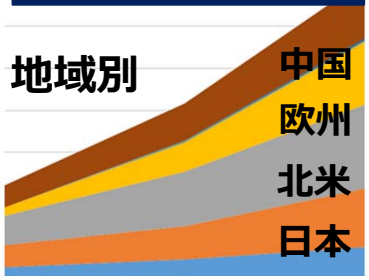
Connected コネクテッド



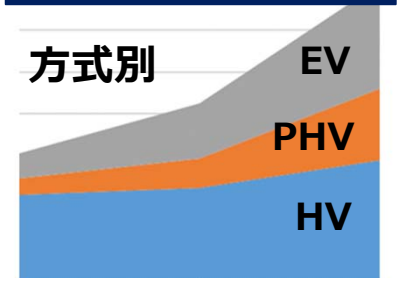
Autonomous 自動運転



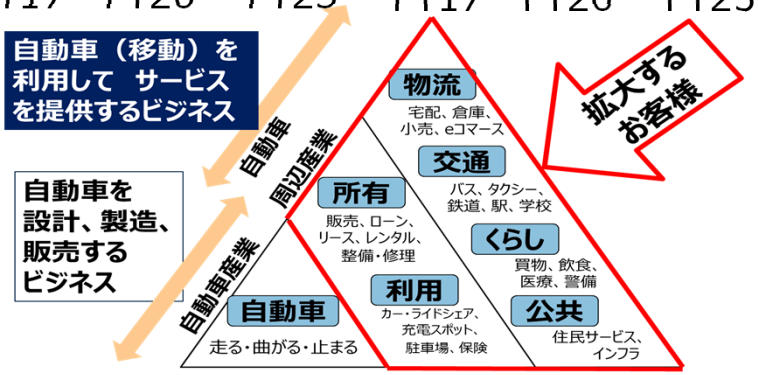
Sharing シェアリング



Electrification 電動化



業界地殻変動



自動車関連ｻｰﾋﾞｽ事業者に顧客拡大

※クラリオン調べ

クルマ中心からヒト中心へ

Copyright © 2018 Clarion Co., Ltd.

クラリオン　めざす姿

クラリオンのCASE

C: Connected and Convenience /コネクト、利便性
A: Autonomous /自動運転
S: Safety(Sensing) /安心・安全(センシング)
E: Electrification and Entertainment
/電動化、エンターテイメント,音響技術

快適空間

シームレスな情報

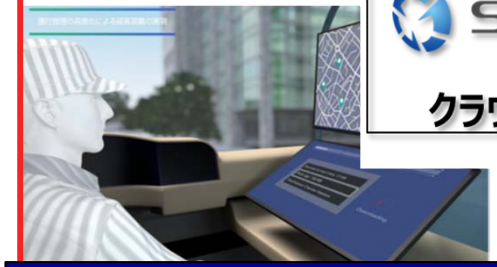
Clarionサウンド技術

統合HMI技術

Smart Access

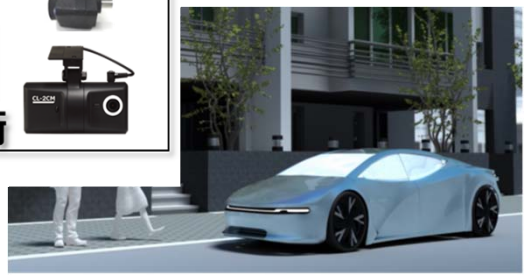
クラウド、ネットワーク技術

安心・安全技術



運行管理

自動駐車



車両情報システムソリューションプロバイダーとしてモビリティー社会へ貢献

Copyright © 2018 Clarion Co., Ltd.

中期経営方針　経営目標

経営方針

クラリオンブランド　社会における価値の再構築

「車両情報システムソリューションプロバイダーとして
グローバルに成長」

経営目標

2021年3月期

売上収益　　2,000億円以上

連結調整後営業利益率　5%以上

Copyright © 2018 Clarion Co., Ltd.

1．2018年3月期 決算概況

2．中期経営方針、目標

3．中期事業戦略

＜2019年3月期～2021年3月期＞

Copyright © 2018 Clarion Co., Ltd.

中期事業戦略

基本戦略

①事業ポートフォリオ変革・事業シフト加速

②グローバル市場でのビジネス拡大

③2020年以降の成長に向けた事業基盤の構築

戦略骨子

①事業主体ｼﾌﾄ・注力

日・欧・米：SI/コネクテッド

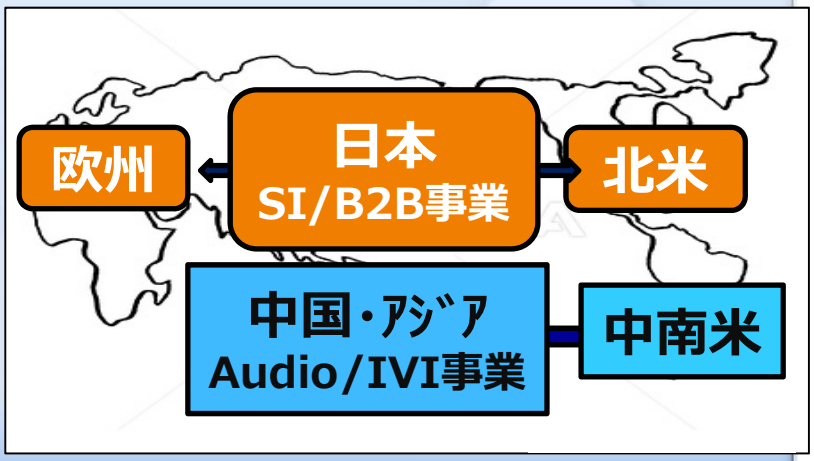
中・亜＋中南米：Audio/IVI

②地域統括体制による

「地域成長戦略」推進

③経営資源の選択・集中・合理化

〔事業主体のシフト・注力〕



Copyright © 2018 Clarion Co., Ltd.

現状認識と今後の成長戦略

市場	社会課題へのCASE,ﾓﾋﾞﾘﾃｲ社会の地殻変動＝新たな事業機会

ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ変革 第一章 (2012～)

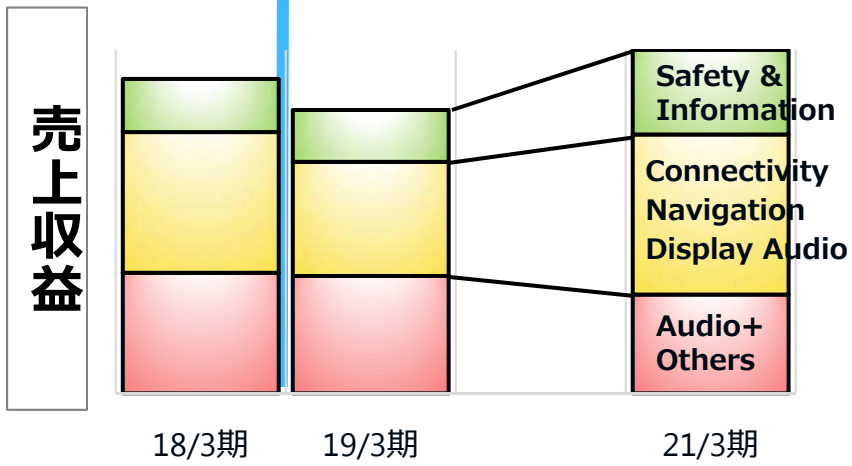
- Safety& Information, コネクテッド注力
- 収益優先

ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ変革　第二章(2017～)
売上収益反転への「刈り取り」、更なる成長へ

〔1/30公表施策〕

「選択集中による ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ変革加速」

- 成長領域 成長地域 へのシフト加速
- 最適化･合理化



〔成長への取り組み〕

- ･アモイ開発センター強化
- ･スマートコックピット構想
- ･Clarion Car技術具現化
- ･自動駐車ビジネス拡大
- ･IoT連携
  ～ソリューションビジネス拡大～
- ･AI技術活用

Copyright © 2018 Clarion Co., Ltd.

アモイ（中国）開発センター強化

AVナビゲーション・Audio等のコモディティ製品開発の中国開発は構築済み
今回 IVI製品開発移管を通じ、コネクテッド製品やセーフティアンドインフォメーション製品開発の一層の強化をはかり、グローバル向け製品開発強化と中国市場での事業拡大へ

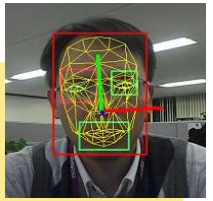
開発センター

Cockpit Module

InfoSeat

大型センター Display

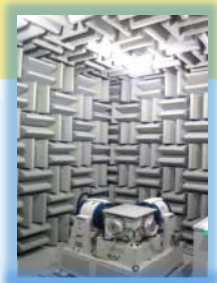
Driver Monitoring System



中国顧客向
受注済

・グローバル向け製品開発の強化
・中国国内ビジネスの拡大

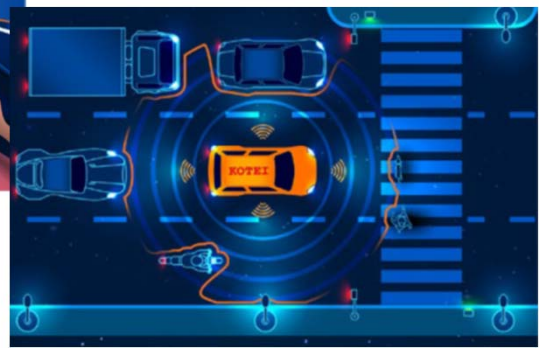
信頼性保証センター



光庭（楽庭）連携

Cockpit Module

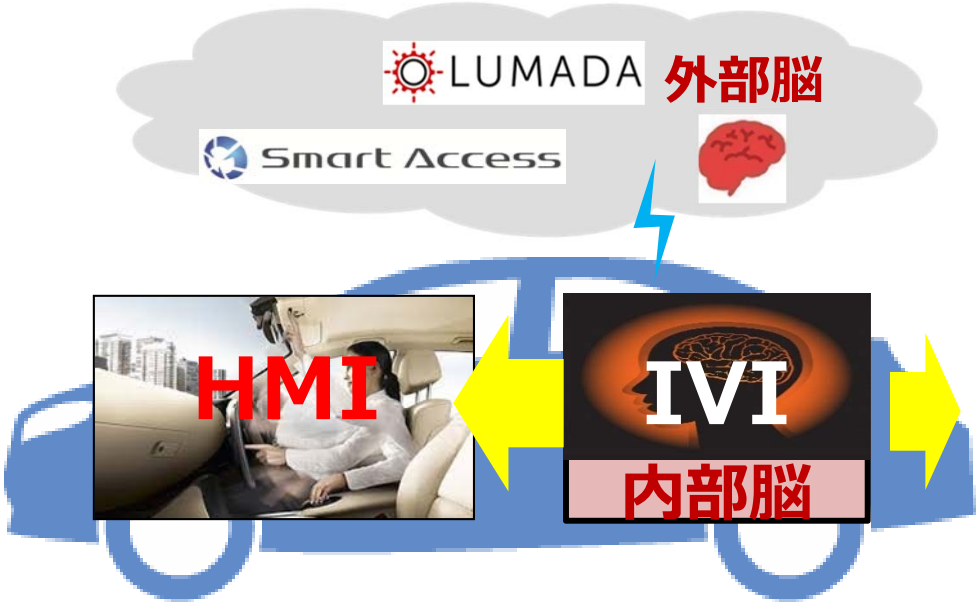
自動運転ソリューション



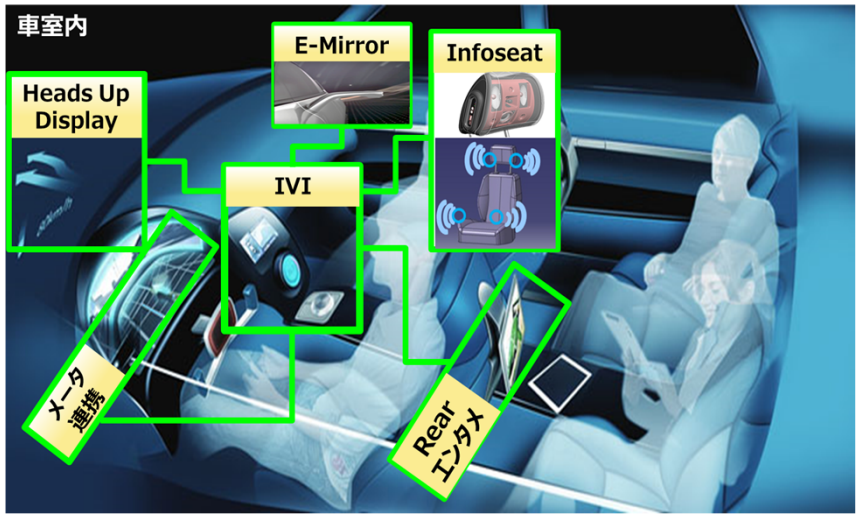
Copyright © 2018 Clarion Co., Ltd.

スマートコックピット構想

当社得意技術を活かし、
お客様に安心頂けるユーザーインターフェースを実現する



スマートコックピット



IVI
Audio/Navi

安心安全
自動運転・駐車

当社得意技術

情報系	制御系	統合HMI系
RSE 画像解析 ・・・	低速運転支援 ﾛｹｰﾀ誘導技術 ・・・	AIエージェント InfoSeat ・・・

当社が実現するカスタマーバリュー

① 常に新鮮
② シームレス環境の提供
③ “気が利いた“知能化アプリケーション
④ 常に安心
⑤ エンターテイメント

Copyright © 2018 Clarion Co., Ltd.

Clarion Car

Clarion Car （次世代先行技術デモンストレーションカー）
東京モーターショー2017, CES2018などで出展

“InfoSeat”
スマートヘッドレストとシートスピーカーで構成
自動車メーカーより多数引合い有

“Auto Valet Parking”

“Emergency Call”

・2018年 CEATEC
・2019年 CES
出展予定
(機能進化)

“AR-HUD”

“AIエージェント（空中結像）”

“Door to Door Navigation”
18年新商品
ナビゲーションに搭載予定

“電子ミラー”

“Quad View”
17年発売
ディーラーOPとしても採用

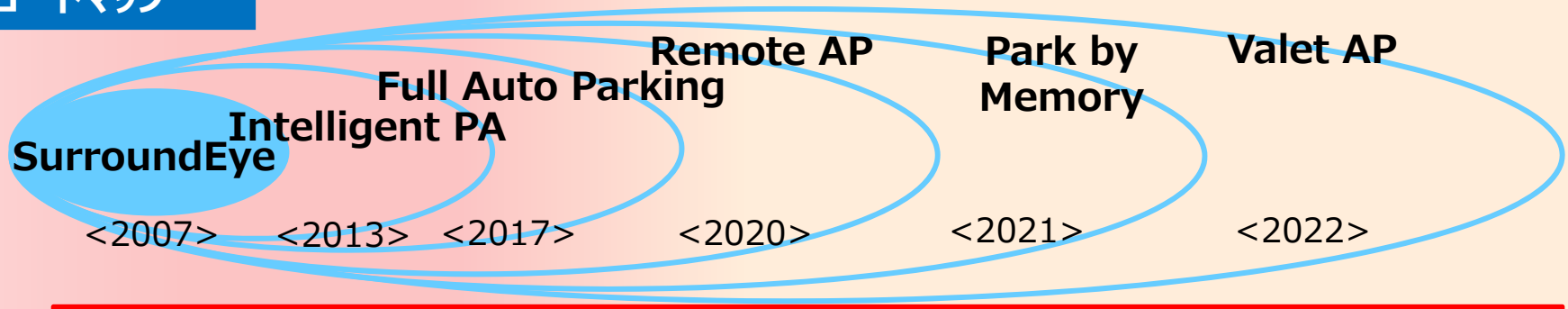
“Full Digital Sound”
17年観光バスシステムにOEM採用

“DMS”
自動車メーカーから採用予定
アモイ(中国)社で開発

Copyright © 2018 Clarion Co., Ltd.

自動駐車技術

ロードマップ



次世代自動駐車ユニットを核として他技術連携を加速し、低速自動運転への発展につなげる

日立連携 Park by Memory

Park by Memory の機能実現に必要なコンポーネントを全て提供可能

統合HMI

IVI

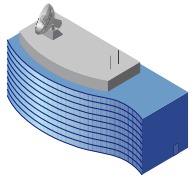
- 操作、車内HMI表示
- Geo-fence

スマートフォン

- リモートパーク操作、HMI表示

コネクテッド

サーバー



- セキュリティ
- OTA

センシング

SurroundEyeカメラ

ソナー＆ソナーECU

Park by Memory

SurroundEye＆自動駐車ユニット

- 画像認識
- 空間マップ
- 走行経路生成
- 自己位置推定
- ソナーフュージョン

車両制御

ADAS ECU
(日立AMS)

- アクチュエータ制御

Copyright © 2018 Clarion Co., Ltd.

Park by Memory　デモ映像

Copyright © 2018 Clarion Co., Ltd.

ＩｏＴ連携（B to Bビジネス、ソリューションビジネス）

日立連携

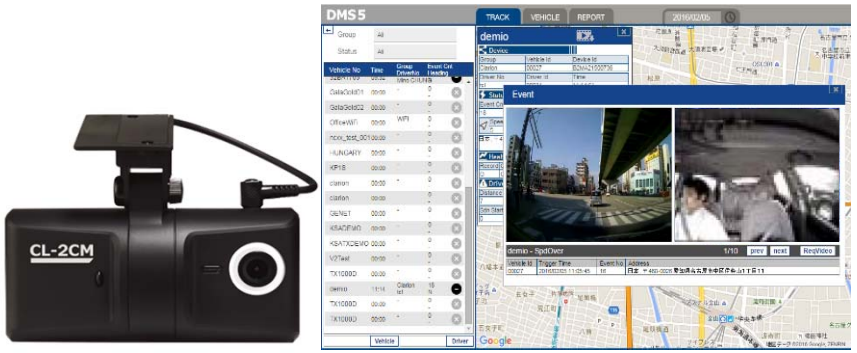
輸送運行管理システム

当社は車載端末の提供、及び車載機の管理を行います。

日立製作所 2017年10月31日 広報リリースより
ヤマト運輸が全集配車両に新たな車載端末を搭載

Smart Access for Enterprise

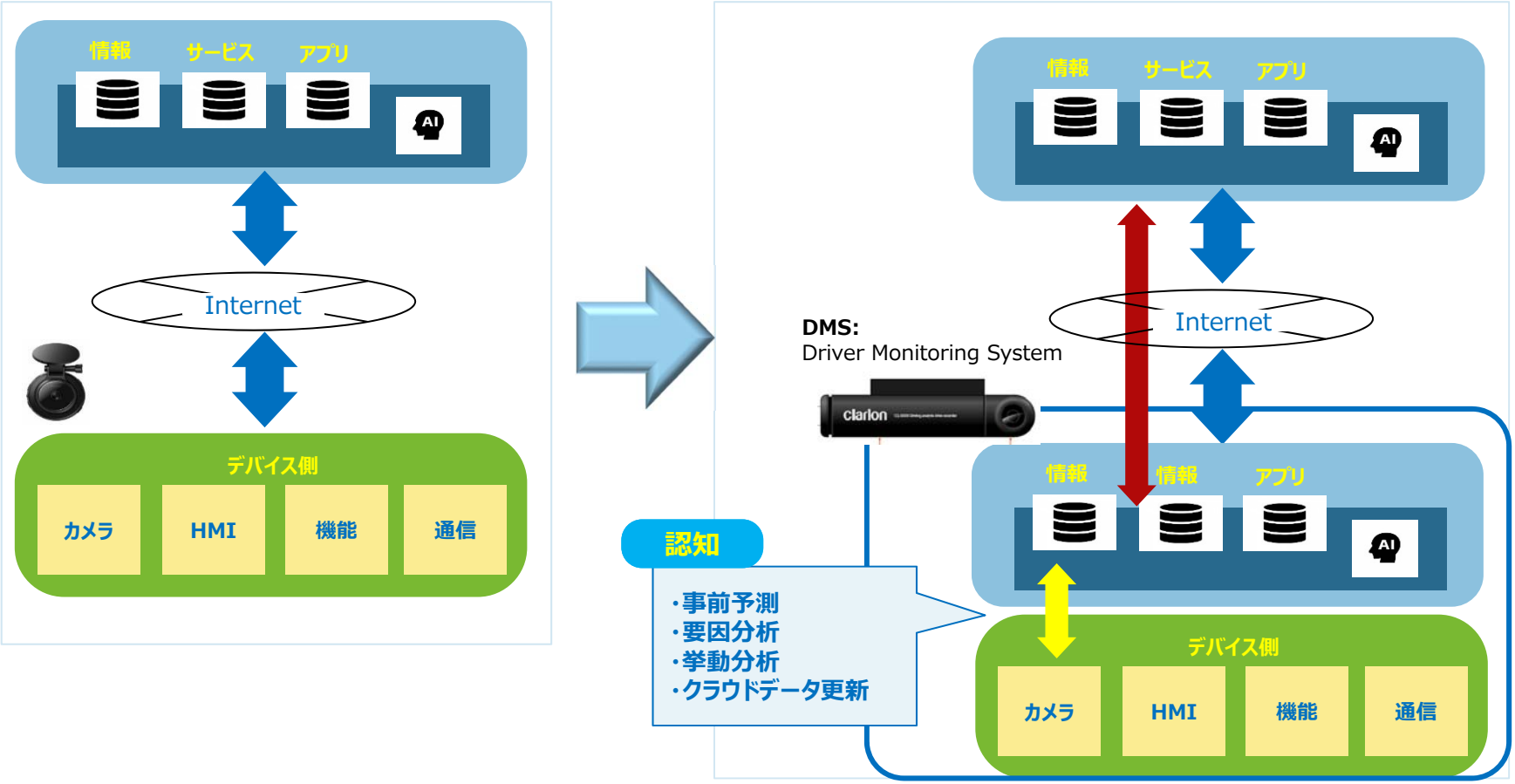
走行時の車両情報をはじめ、イベント情報を含む「保存映像」や走行中車両の「ライブ映像」等をサービスプラットフォームへアップロード



Copyright © 2018 Clarion Co., Ltd.

AI技術活用 ～クラウド＋エッジ・コンピューティング技術への挑戦～

従来クラウド上にある**クラウド・コンピューティング**（ビッグデータ活用/データ解析を行なうAIエンジン）を更に活用するために、**エッジ・コンピューティング**を連携させ端末側での高度の処理を行い、**「認知・判断・クラウドデータのリアルタイム更新」**を行い新たなシステムへ発展させる



Copyright © 2018 Clarion Co., Ltd.

Brand Promise

Clarion

Clarion

moves you ▪ connects you

クラリオンは、
音、情報、快適、安全をあなたとつなげることで、
あなたを感動させます。

Copyright © 2018 Clarion Co., Ltd.